

伊勢原市第5次総合計画 後期基本計画 施策評価委員会  
【全体会 第5回会議】 会議録

〔日 時〕 令和3年3月26日(金)午後3時30分～午後5時

〔場 所〕 伊勢原市役所 3階 議会全員協議会室

〔出席者〕

〈委員〉

妻 鹿 ふみ子  
田 中 麻由美  
山 川 勝 久  
宮 崎 清  
能 條 芳 夫  
安 藤 隆 幸  
柴 田 明 彦  
土 井 文 平  
大 高 利 夫  
種 村 公 利

〈事務局〉

山室 企画部長  
成田 経営企画課長  
瀬尾 経営企画課係長  
成澤 経営企画課主任主事  
吉川 経営企画課主事

〔公開可否〕 公開

〔傍聴者〕 なし

〔内 容〕

- 1 開 会 事務局
- 2 あいさつ 妻鹿委員長
- 3 議 題
  - (1) 外部評価結果（案）の確認について  
意見等なし
  - (2) 今後の施策の方向性について
  - (3) 全体を通じた意見・感想
- (4) その他  
意見等なし
- 4 閉 会 事務局

} 別紙のとおり

## 共通事項

- ・ 施策の立案にあたっては、市の課題を明確にし、方向性をしっかりと見据えるとともに、優先順位の明確化が必要。
- ・ 施策の指標が個別の事業の尺度にしかなく、事例が散見されたので、施策の目的を的確に捉えた指標の設定が必要。また、実績値を容易に把握できる数値設定が好ましい。
- ・ 施策の進行管理の困難さと負担を考えると、施策の内容や本数を簡略化する検討も必要。
- ・ 施策を構成する事業については、施策の目的達成に向けた事業選定が必要。
- ・ 人物金のリソースを確保していくためのキーワードは、「選択と集中」による財源確保である。
- ・ 産官学の連携にプラスして、ローカルメディアの視点を取り入れていくことも必要。
- ・ コロナ以前の社会に戻るといった発想は捨て、非接触型の観点を取り入れた施策展開が重要。
- ・ 次期総合計画に男女平等の意見を反映させるため、審議会委員の男女構成比率を同じにするべきと考える。

## まちづくり目標1：誰もが明るく暮らせるまち

- ・ 地域共生社会の実現に向けた市町村の相談体制を強化するため、令和2年6月に社会福祉法が改正され、厚生労働省が地域づくり強化に向けたモデル事業を募集しているので、次の計画に向けて活用を検討してはどうか。
- ・ 婚活事業は民間サービスで運営されているため、事業を縮小する必要があるのではないかと。
- ・ 今後の課題として、空き家、空き店舗の利活用が求められる。
- ・ 市制施行50周年を節目に、郷土資料館を利用した施策の検討をしてはどうか。

## まちづくり目標2：地域で助け合う安全で安心なまち

- ・ 犯罪防止の観点から防犯カメラの効果が発揮されているので、計画的な設置が必要。
- ・ 災害時の市民の安心安全を守るため、伊勢原市の強みとなる災害時の拠点施設の整備が必要。

### まちづくり目標3：個性豊かで活力あるまち

- ・ 「個性」という言葉がいくつか用いられているが、観光客向けや市民向けなど、施策の対象に対する定義の明確化が必要。
- ・ 豊かな自然は、伊勢原市の個性の一つとしての共通認識を持った上で、施策立案に生かすことが必要。
- ・ 伊勢原駅北口周辺整備や新たな土地活用について、更なる事業進捗が求められる。

### まちづくり目標4：住み続けたい快適で魅力あるまち

- ・ 今後の公共施設の在り方については、市民も巻き込んだ議論が必要。
- ・ 公共空間の利活用の一つとして様々な団体が実施している「パーキングデー」の、市民を巻き込んだ取り組みを検討してはどうか。
- ・ 安全な交通環境を確保するため、人や車輛の交通量を把握した中での施策展開を検討してはどうか。
- ・ 市民参加による取り組みの理想的なゴールは、市民が主体となって自走することである。

### まちづくり目標5：みんなで考え行動するまち

- ・ 市民参加については、仕組みや仕掛けが老朽化しているので、市民参加の新たなプラットフォームを構築し、力のあるシニアやNPOと連携する仕組みの検討が必要。
- ・ 市民協働に関する施策を他市と比較すると、必ずしも十分とは言えないため、今後に向けて力を入れるとともに、担い手の育成が必要。
- ・ 今後はより、産官学と連携した取り組みを推進することが不可欠である。
- ・ ボランティア活動をしたい人がどこから情報を入手すればよいか分かりづらいので、市民活動サポートセンターの取り組みを工夫するなど、新たな手立ての検討が必要。
- ・ 今後は、一つの窓口で解決するワンストップ窓口の設置が必要。
- ・ 今後のまちづくりのキーとなるのは、デジタルと市民参加と言えるが、デジタル化はコストがかかるので、多様な視点から検討し、計画的に導入することが重要。